

「スマートライフ推進協創プロジェクト」 第2回推進会議の概要について

「スマートライフ推進協創プロジェクト」の平成 25 年度第2回推進会議（みえスマートライフ推進協議会 第5回企画・運営委員会）を平成 25 年 10 月 21 日（月）に開催しました。

会議に先立って、本田技研工業（株）のスマートハウス実証実験棟を視察しました。

会議の概要は、以下のとおりです。

「スマートライフ推進協創プロジェクト」委員

※敬称略、カッコ書は役職

＜委員長＞

並河 良（中京大学総合政策学部教授（兼）
大学院経済学研究科教授）

＜副委員長＞

坂内 正明（三重大学教授 スマートキャンパス部門長）

＜委員＞

生駒 芳子（ファッション・ジャーナリスト）

小西 千晶（株式会社東芝 コミュニティ・ソリューション事業部参事）

坂井 稔（富士通株式会社 三重支店長）

※坂井委員はご欠席（代理：白根東海支社シニアマネージャー）

設楽 哲（一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）理事）

樋田 直也（本田技研工業株式会社 事業企画統括部 スマートコミュニティ企画室長 主任技師）

林 宏行（大和ハウス工業株式会社 本社環境エネルギー事業部 副事業部長 本店環境エネルギー事業部 事業部長）

※林委員はご欠席

半田 敬信（三菱化学株式会社 情報電子OPV 事業推進室建築デバイス部長）

※半田委員はご欠席（代理：張ヶ谷電子デバイス部次長）

森島 正幸（百五銀行 営業渉外部長）

＜推進会議の進行概要＞

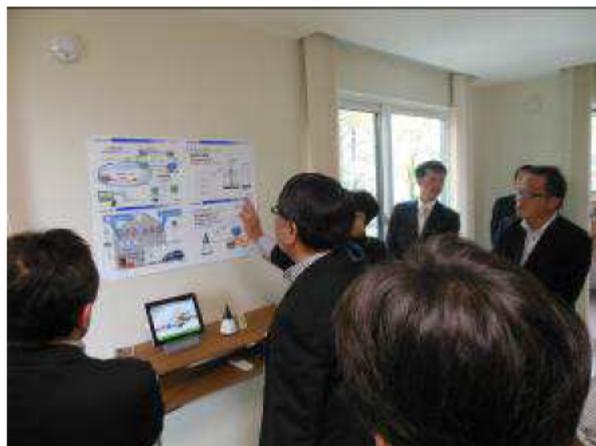
会議の進行概要は以下のとおり

開会 13:00

議題

- (1) スマートハウスの事例研究
- (2) スマートライフ推進協創プロジェクトの取組事例
- (3) スマートライフ推進協創プロジェクトにおける平成 26 年度に向けた取組方向
- (4) ICTを活用した産業活性化の推進

閉会 16:00



ホンダ スマートハウス視察の様子

(事務局からの説明)

事務局より、スマートライフ推進協創プロジェクトにおける具体的なプロジェクトの進捗状況及び平成 26 年度に向けた取組方向を説明しました。

(プロジェクト推進についての意見交換)

続いて、並河委員長の進行によりプロジェクトの推進に関する意見交換を行いました。

※委員からの主な意見

- スマートハウスについては、現在ハードの整備が中心となっているが、今後重要なのがソフト整備であり、まさにライフスタイルそのものである。今後、豊かな社会やライフスタイルを提示し、新たなビジネス展開を検討するためには、健康、美容、ファッションなど女性の視点が重要な鍵となる。
- 地域住民の参画を促進するため、地域住民にとって、どのような利点があるのかなど昨年度実施した住民アンケート結果のほか、検討会の取り組み方向をフィードバックすべきではないか。
- 三重県のスマートライフの取り組みについて、他県との連携・意見交換等を通じて、先進性のある取り組みをさらにブラッシュアップしてより良い三重発のビジネスモデルを提案すべきではないか。
- 企業の参画を促進するため、企業にとって、どのような技術が活用できるのかなど各検討会におけるスマートライフの取り組み方向を分かりやすく情報発信する必要があるのではないか。
- 災害時の避難場所となる集会所や学校の体育館の整備などに、スマートハウスの考え方（非常時の電力供給する仕組みなど）を活用すると防災上の視点からも有効であるので、企業のビジネス展開する対象として推進していくべきではないか。

○今後の住宅市場は、既築住宅のリフォーム事業が中心となる見通しであるため、2020年までに政府が新築住宅向けに普及を目指すゼロエネルギーハウス※の仕組みを既存住宅に展開するには、大手メーカーだけでなく、地場の工務店の育成がポイントとなるのではないかと。

※「ゼロエネルギーハウス」とは、住宅（建物・設備）の省エネ性能向上及び再生可能エネルギー等の活用により、住宅で消費したエネルギー量と住宅で発生させるエネルギー量を相殺できる住宅。



次回の開催予定

次回の推進会議については、平成 26 年 1 月下旬から 2 月上旬に行う予定です。